



意図を持ってチャンティングする

スワミ・アカンダーナンダ

「 templeの中にいなさい」のサツァング

シッダ・ヨーガ・ユニバーサル・ホールでのライブ動画配信

2020年5月2日 土曜日

5月2日土曜日の「 templeの中にいなさい」のサツァングは、ナーマサンキールタナ——神聖な名前をチャンティングすること——と瞑想の、シッダ・ヨーガの修行に焦点を当てました。サツァングの司会でティーチャーのスワミ・アカンダーナンダは初めに、参加者がより高い意識と意図をチャンティングに向けられるように、チャンティングの言葉の意味を説明しました。以下は、スワミ・ジの言葉です。

ナマステー。

今夜、私たちは「サーンバ サダーシヴァ サーンバ サダーシヴァ、サーンバ サダーシヴァ
ハラ シャンボー」をチャンティングします。

このチャンティングのメロディーは、軽やかさと喜びの資質を呼び起こす旋律パターン、カーフィー・ラーガです。このチャンティングは、すべての至高なる自己であるシヴァ神をたたえるものです。繰り返しの部分では、神をサーンバ・サダーシヴァとしてたたえます。それは、私たちの内側に絶え間なく存在し、常にその創造の力、すなわちここでは女神アムバーとして表されている神聖なシャクティと一つである永遠のシヴァです。私たちは神を、私たちの本質を覆い

隠す無知を取り除く者、制限の感覚を溶解して自由を明らかにする者であるハラとして呼び起こします。そして、神を、あらゆる幸福を授ける者、シャンブとしてたたえます。

つまり、この繰り返しの部分の意味は、

おお、永遠なるシヴァ、女神アムバーと一体になった者よ！

おお、ハラ、無知を取り除く者よ、

そしてシャンブ、あらゆる幸福を授ける者よ！

そして、最初の節では、さらにより多くの神の名前を歌います。

へー ギリジャーヴァラ

へー ギリジャーヴァラ

へー ギリジャーヴァラ ハラ シャンボー

私たちはシヴァ神をギリジャーヴァラと呼びます。ギリという言葉は山を意味し、ここではシヴァ神の住むヒマラヤ山脈のことを表します。ギリジャーヴァラは、シヴァ神を、神聖なシャクティの優しく育む側面である山の娘パールヴァティーの最愛の人として表しています。

次の節は、

へー カルナーカラ

へー カルナーカラ

へー カルナーカラ ハラ シャンボー

サンスクリット語のカルナーは慈悲を意味し、それはシヴァ神の最高に慈悲深く、優しく、思いやりある、そして愛情あふれる資質を表します。カルナーカラはシヴァ神を慈悲の具現として、そして神聖な慈悲を降り注ぐ者として表現するものです。それは、生きとし生けるものに対する神の計り知れない思いやり、共感を伝えています。カルナーカラと歌うことによって、私たちは心の中に無条件の愛と恩恵として存在する神を喚起します。他者、特に手助けが必要な人に対して、慈悲、共感、そして親切を表現する方法を見いだすことは極めて重要です。慈悲は逆境に直面しても強さを育み、授けます。それは、私たちの真の人間性を呼び起こします。

第3節は、

ヘー ムルテュンジャヤ サッチトウスカマヤ
ヘー カルナーマヤ ハラ シャンボー

ムルテュンジャヤは、二つの単語が合わさった名前です。ムルテュは「死」を意味し、ジャヤは「勝利」または「征服」を表します。従って、ムルテュンジャヤは、死を征服した者、不死身の神としてのシヴァを指しています。肉体や変わり続ける世界を超越して存在する自分自身の真の大いなる自己を認識する時、私たちは死に打ち勝つことができるのです。

この節の中でのシヴァ神のもう一つの素晴らしい名前は、サッチトウスカマヤです。それは、「存在」すなわちサット、「意識」すなわちチット、「至福」すなわちスカです。サッチトウスカマヤは、その本質が存在、意識、そして至福である神をたたえています。

このチャンティングの完訳は、以下の通りです。

おお、永遠のシヴァ、女神アムバーと一体の者よ！
おお、ハラ、無知を取り除く者よ、

そしてシャンブ、あらゆる幸福を授ける者よ！

あなたはギリジャーヴァラ、山の娘パールヴァティーの最愛の人です。

あなたはカルナーカラ、慈悲の具現です。あなたはムルテュンジャヤ、死を克服した者です。

あなたの本質は大いなる存在、意識、そして至福です。

シッダ・ヨーガの道でグルマールは、私たちが持つ意図には大きな力があると教えています。これらのシヴァ神の神聖な資質——慈悲、幸福、不死、存在、意識そして至福——が、あなたの心とあらゆる所にいる人々の心の中で開花するという意図を持って、チャンティングすることをお勧めします。

